

19名の参加で 倶楽部のこれからを話しあう

12月18日(火)夜、散居村ミュージアム交流館で臨時例会を開いた。11月に総務大臣賞をいただいた内祝いもふくめた集いの呼びかけで、19名参加し真面目で楽しい一時をつくった。

天野事務局長が司会進行した。冒頭、柏樹代表幹事がよびかけた主題と冷雨の中の参加に感謝のあいさつを行った(別掲)。それを受け、参加した全員がそれぞれの思いや期待を話した。

「カインクラブ維持と倶楽部活動に子どもの目線を」
「維持はひどいが、付き合う楽しみもみつけて」

会員の発言の要旨は、

- D：今度の受賞はカインクラブからのものだと思う。活動へのお礼だ。
T：始めて参加したが、工場の一面にも木を植えることにしたい。
H：23号台風でカインクラブは変わった。景観も悪くなっているが、絵を描いている者としてぜひ今以上に維持してほしい。
O：なかなか例会に出られないが少しでもカインクラブを考えていきたい。
T：カインクラブの中にいて大きな関心を持っている。
O：色んな部署の専門家と会い、話し合えることが大きい楽しみだ。
N：国道筋でのカインクラブの維持は大変なことがある。砺波の良さを残さねばと心している。
H：老人をはじき出さないようにつつんで活動してほしい。戦前の供木の苦い思い出は消すことができない。
K：ミュージアムがカインクラブづくりの拠点となってほしい。高速道路下り線で小矢部市一帯にしっかりしたカインクラブがつくられると景観も環境も一変

する。そのための声を大きくしたい。

Y：何回か顔を出して活動の中味がわかった。

S：この土地にきたら倶楽部に入るべきものと思って加わっている。

K：森をどうつくるかが大きなテーマになっている。西本願寺でも千年の森づくりが叫ばれているが、どこでどうつくるかが今ひとつはっきりしない。

T：例会で植えてもらった木は一本も枯れていない。小学生は割合カインクラブに関心を持ち、素直に受け止めている。学校や家庭での話合いが大切だ。

W：倶楽部の活動のために子どもの目線を取り入れることだ。家庭でも子どもの声に耳を傾けるとよい。

H：古く、屋敷の大きい家にいる。息子たちが維持していくことは大変だ。台風後に植えたスギは結構大きくなって、励みになる。

S：カインクラブは減っている。しかし、地球温暖化などで大局からの見直しもとめられている、今こそ行政の姿勢が問われている。木を植えることを叫んでいこう。散居とカインクラブは歴史遺産で素晴らしい景観だ、とお茶屋さんで話されていた。



臨時例会の様子(富山新聞提供)

グリーンプロシート

O：石仏に関わりながら外からカイニョを見ている。カイニョを支援する一人だ。

A：建築家としてカイニョに注目している。スンバペレットは大注目だ。灯油代が上がり、ペレットが安い状態になっている。家の中にイロリがあり、そこで火をたく文化を考え直す時だ。

S：私の活動目標は①散居景観維持、②地域の活性化、③元気な散居を発信、④色んな調査をする——ここに住んでいる人が「よいところだ」と思えるようになることだ。

× × × × × × × × ×

参加者の思いや願いを生かし楽しい倶楽部にしていくことを確認し、懇親会につないだ。約2時間の集りのしめくくりとして「カイニョ倶楽部万歳」をして終わった。

外の冷雨もふっとばすような熱さを心にもらいながらそれぞれ帰途についた。

× × × × × × × × ×

この模様を北日本新聞と富山新聞が、次の日、報道した。

<別掲> 柏樹代表幹事のあいさつ

身にあまる総務大臣賞をもらった。発足10周年を経た活動への褒美だと受けとめたい。これがカイニョからのものなら大拍手なのではとも思いながら——発足時は、得体の知れない団体と見られた節もあったが、年2~3回のカイニョの喜ぶ活動を10年続けたことで地域に認められた。なかでも平成16年の23号台風で、倶楽部の主張と植樹手法等が市や県からも注目された。こうした活動を新聞が取り上げたことも大きな応援にもなっている。今の倶楽部の実情も冷静にみて活動を続けたい。

1) 会員95名中、参加したことがある人41名(43%)、遠方での協力者54名(57%)という内容の中での活動であること。

2) 期待に応えるために、①新しい会員を増やす(特に若い人を)、②例会参加者も多くなること

3) 倶楽部のベースは、①楽しみながら木にふれる、②会報を大事にし輪を広める

こうしたことをふまえ、ゆっくり活動を続けていこう。今夜は寒い雨の中、19名も参加いただけただことは元気への大きな節目になる。

<効用>

樹木に活力を与える。病害虫を減退し減農薬の上、樹木の幹や葉が健康になる。カイガラムシの減少に役立つ。アメシロやマツノザイセンチュウには効果はうすい。五鹿屋農村公園のカエデに使用した結果樹勢が回復した(これだけではないと思うが)

<成分>

通電性の無い特殊炭を発砲ポリエチレンシートにしたもの。マイナスイオンと遠赤外線効果が確認された。環境にはよい。

<使用法>

樹木の幹に巻きつける。

<価格>

30cm×2m：1,260円、30cm×10m：5,775円

<販売元>

日本海環境サービス株式会社(076-444-6800)

カイニョの映像テレビ

「宇宙船地球号・屋敷林は小さな宇宙」と題したテレビ放映が、全国ネットで2回行われた。

平成19年12月23日(日)夜11時30分から12時に「北陸朝日」で、12月29日(土)午前10時から10時30分に「北日本放送」(日本テレビ系)で放映された。

これには、会員の杉森孝一さん宅の屋敷林等がとりあげられ、製作する上でカイニョ倶楽部も協力した。散居とカイニョが全国から注目される新しい時代のさきがけかもしれない。

* 会員の感想

・おばあちゃんの、「カイニョと共に生活してきた話と、すがたが暖かくて大変心がうたれた。

・カイニョと散居村を、全国へ発信する上で、最良の形だった。
